

おれんじレター

東根市地域包括支援センター

～認知症になってもやさしい東根市をめざして～

現在、65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍と言われ、
9年後の2025年には3人に1人が認知症とその予備軍に
なるであろうと推測されています。

認知症の方がいつまでも自分らしく
生きがいのある暮らしができるように



認知症になっても大丈夫！
地域でできる前向きな見守りや支え方を考えませんか？





大森小学校5年生のみなさんが受講しました。オレンジリングを付けて誰にでも優しくできる子どもたちになってほしいものです。

認知症サポーター養成講座を受講して地域のみなさんが認知症について学んでいます!!



東根市青年会議所のみなさんです。認知症サポーターの証であるステッカーを配布し、会社に貼っていただきました。



北村山生協こーぶ東根委員会のみなさんです。講座終了後は、自らの体験の中で感じている事や質問があり、有意義な時間でした。



市民のみなさんを対象に開催しました。若い方の受講者が多く「認知症を学ぶいい機会になった」との声が聞かれました。



新田町・南町地区のみなさんです。認知症について学びその後「認知症声かけ訓練」を行いました。

☆認知症サポーター養成講座受講方法☆

【内容】 認知症に関する基礎知識、認知症の人への対応の仕方

【時間】 60分～90分

【受講料】 無料

【講師】 認知症キャラバンメイト（専門研修の修了者）

☆希望の方は随時受け付けています。ご連絡下さい。

☆受講者にはオレンジリングをさしあげます。

☆少人数から受講出来ます。



東根市サポーター数3,258名（平成28年9月現在）東根市民の6.8%が認知症サポーターです。

ちなみに……

昨年度（平成27年12月現在）の認知症サポーター数は2,868名東根市民の6.0%です！

認知症の方や家族の応援者である「認知症サポーター」が**増えていくことを目指しています。**

認知症の方の徘徊が増えていることをご存じですか？

東根市において認知症による行方不明で警察に保護されたのは

16件（実人数13名）です。
（平成28年1月1日～9月30日現在）

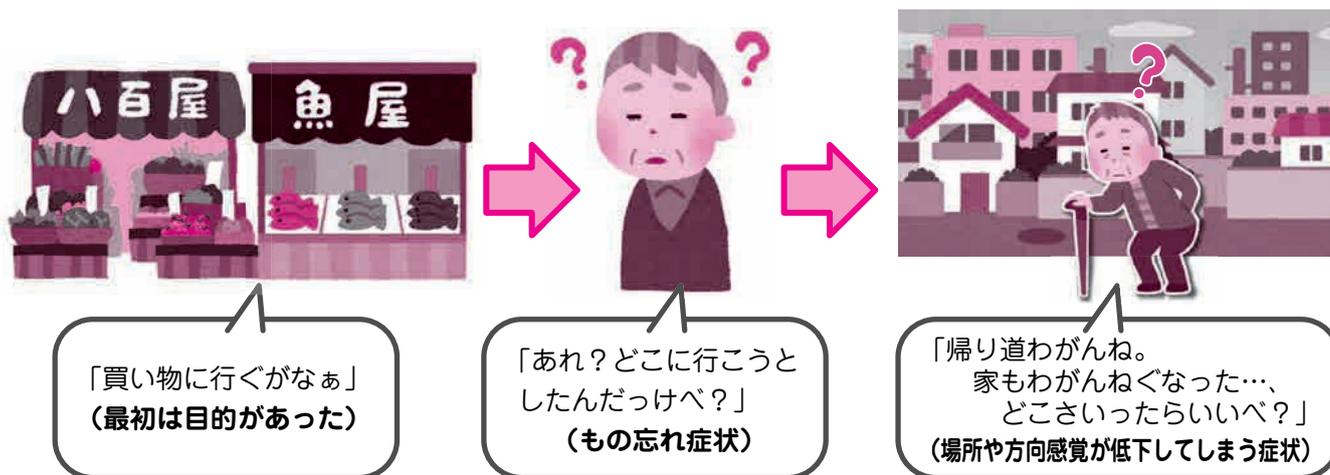
認知症の方にとって「徘徊」は命の危険を伴う行動です。

行方不明時には地域みなさんが発見するケースが多いため、
地域の見守りがますます必要になると考えられます。



～なんで徘徊するんだろう??～

認知症の症状に外を歩き回るといった行動があります。
徘徊はただウロウロしているわけではなく、ご本人にとっては目的があって歩いている
場合が多いのです。



9月28日「認知症声かけ訓練」を開催しました

新田町1区・2区・南町の方に参加して頂きました。
ご協力ありがとうございました。



認知症の方の世界を理解すると、
その方の言動や気持ちが受け入れやすくなり、
介護負担やストレス軽減につながります。
ちょっと見方を変えると楽になることがあります。

～認知症のわたしの気持ち～

あなたがわたしにやさしいなら、わたしも同じようにやさしくできます。

新しいことは忘れてしまいますが昔のことはよく覚えています。

思い出す力が弱くなり、丸ごと忘れてしまうこともありますが、いつも新鮮な気持ちです。



わたしが認知症になったら...
いろいろな症状が
出ることがあります。

出来事は忘れても感情は残ります。

こだわりがありますが、そこには特別な思い入れがあるのです。

勝手なことを言う事もありますが、気持ちの切り替えは早いです。



身近な人に強く接してしまうこともあります。甘えている証なのです。

担当者から...

市民のみなさまに身近な病気として認知症を理解していただくために、活動しています。
どんなときも、人とのつながりはとても大切です。
いくつになっても「おたがいさま」で「誰にでも優しい」東根市になればいいなと日々思いながら、これからも邁進していきたいと思っています。
認知症に関して心配ごとがあれば、ご相談下さい。



発行／東根市地域包括支援センター

山形県東根市中央一丁目3番5号(東根市ふれあいセンター1階)

☎42-3939 FAX.43-2331

ホームページアドレス <http://www.higashine-houkatsu.jp>